

女性活躍支援のための 人的資本投資・健康投資 に関する意識調査

目次

1. はじめに
2. 調査の背景と目的
3. 調査の方法
4. 調査の結果
5. 考察
6. 付録

はじめに

この調査レポートは、株式会社フェアワークが実施した『**女性活躍支援のための人的資本投資・健康投資に関する意識調査**』を基に作成されました。

調査の目的

女性活躍支援を目的とした健康投資に関する企業の意識を探るとともに、福利厚生施策としての法人向けオンライン診療のニーズを調査すること

この調査はアンケートにご協力いただいた皆様のおかげで実現することができました。
ご協力いただいた皆様に対して、心より感謝申し上げます。



調査の背景と目的

2023年6月、政府は男女共同参画の推進に向けた「女性版骨太の方針2023」の案を示した。その中では、「**2030年までに上場企業の女性役員比率を30%以上にすること**」などが目標のひとつとして掲げられている。

女性活躍推進に関連したこのような数値目標を達成するうえでは、女性が働きやすい職場づくりをするうえでの障壁を明らかにし、施策を検討する必要がある。しかし、ここには、**仕事と育児に関する伝統的な性役割観や日本企業におけるワークライフバランス**といった課題、年齢の変化に伴う心身の変化や月経症候群といった**女性特有の健康課題**など、種々の課題が現存している。

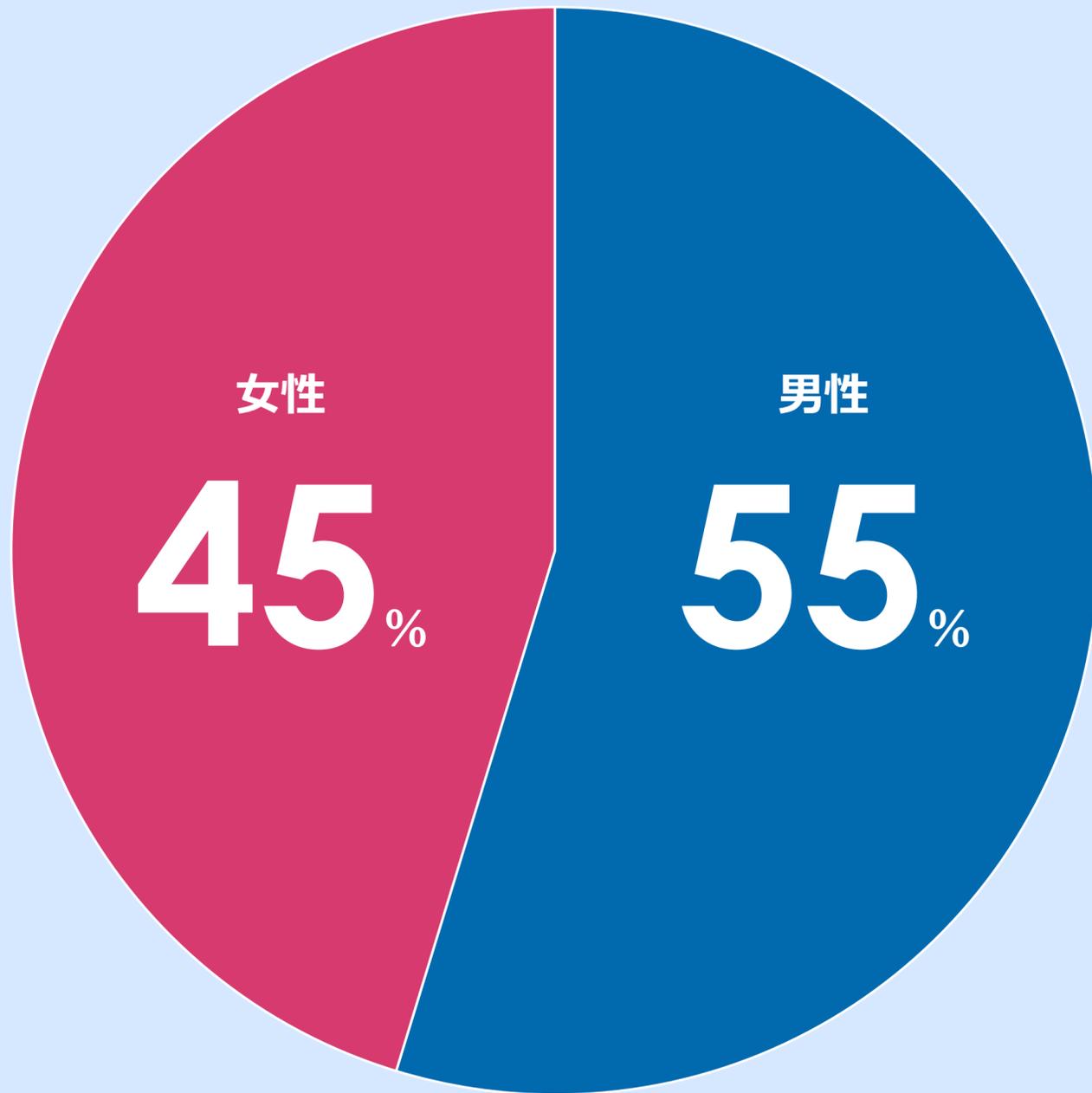
本調査では、女性が働きやすい職場づくりを目指すうえでしばしば見逃されてしまう『女性特有の健康課題』に焦点を当て、女性社員の健康支援に関する企業の動向と、具体的な健康施策に関するニーズを調査する。また、コロナ禍以降、その普及が加速したオンライン診療は、女性の健康支援の観点で、新たな福利厚生施策となり得るかの意識調査を行う。

調査の方法

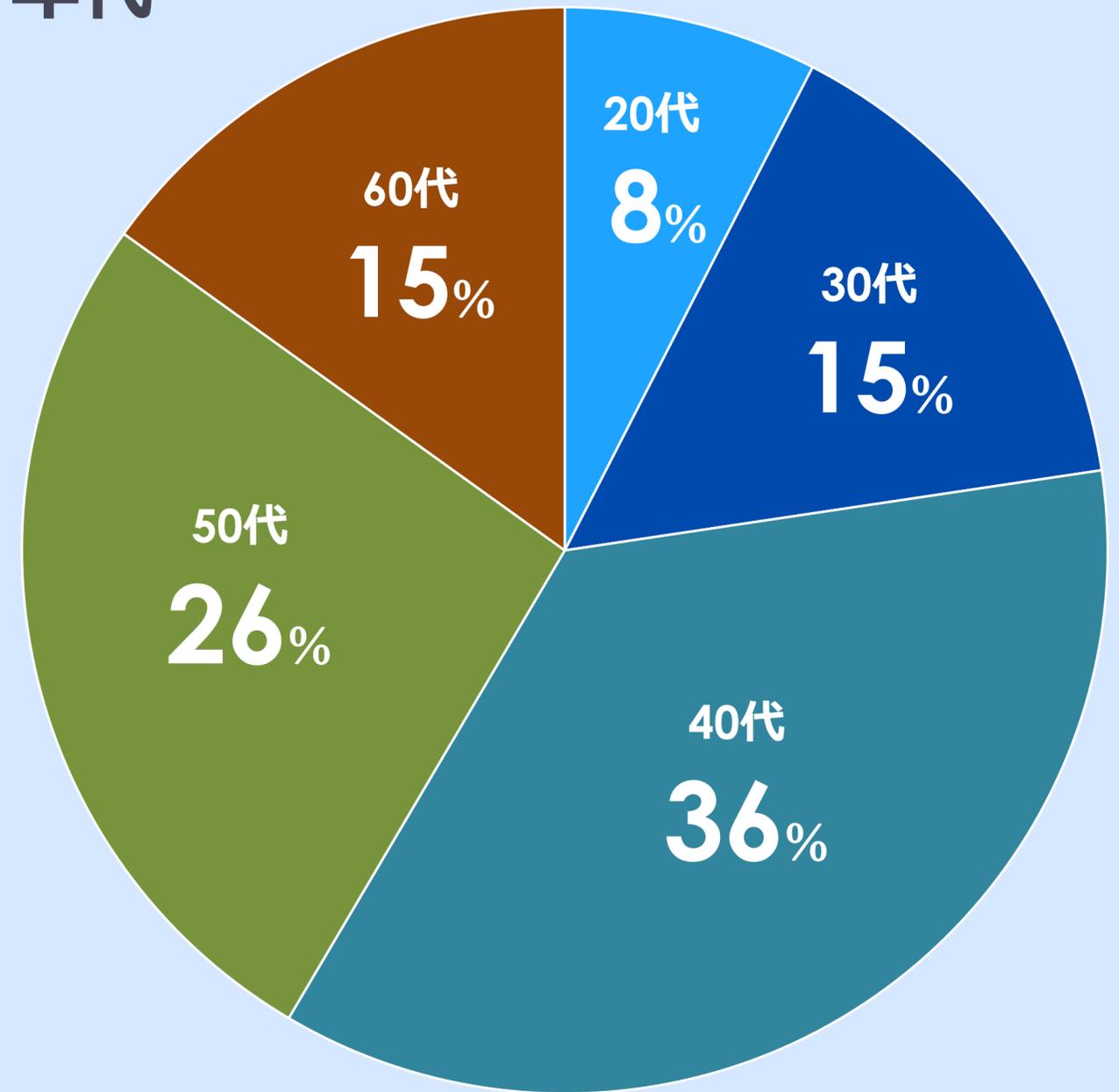
- 実施時期** : 2023年6月29日 ~ 2023年7月6日
- 対象者** : 20代から60代の企業就労者
- 実施方法** : 電子メールでのアンケート配信およびSNSでの周知
- 質問項目数** : 19問~21問
- 協力の御礼** : Amazonギフト券（500円分）、調査レポート
- 回答者数** : 53名（53企業）

回答者の属性①

性別

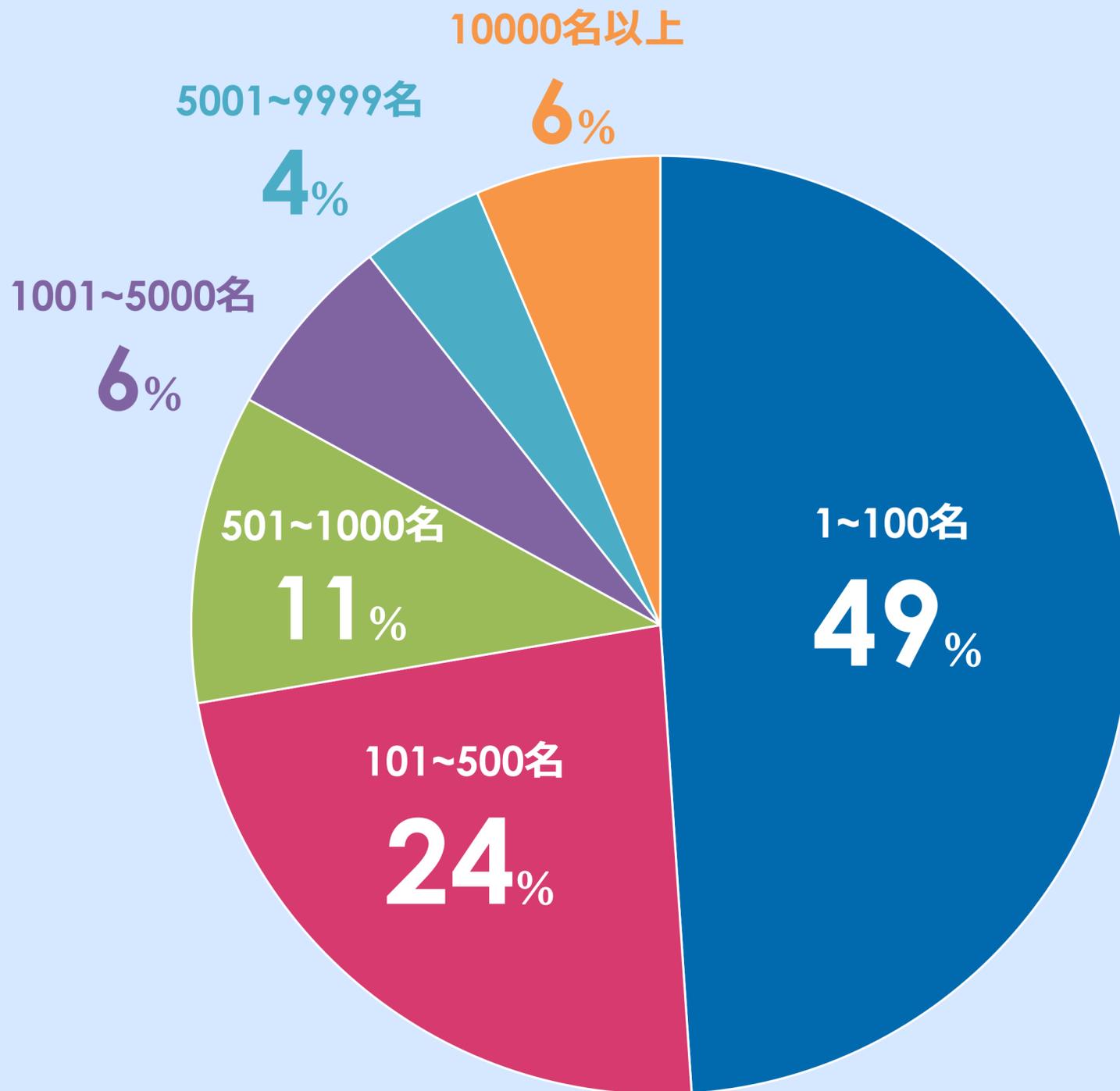


年代

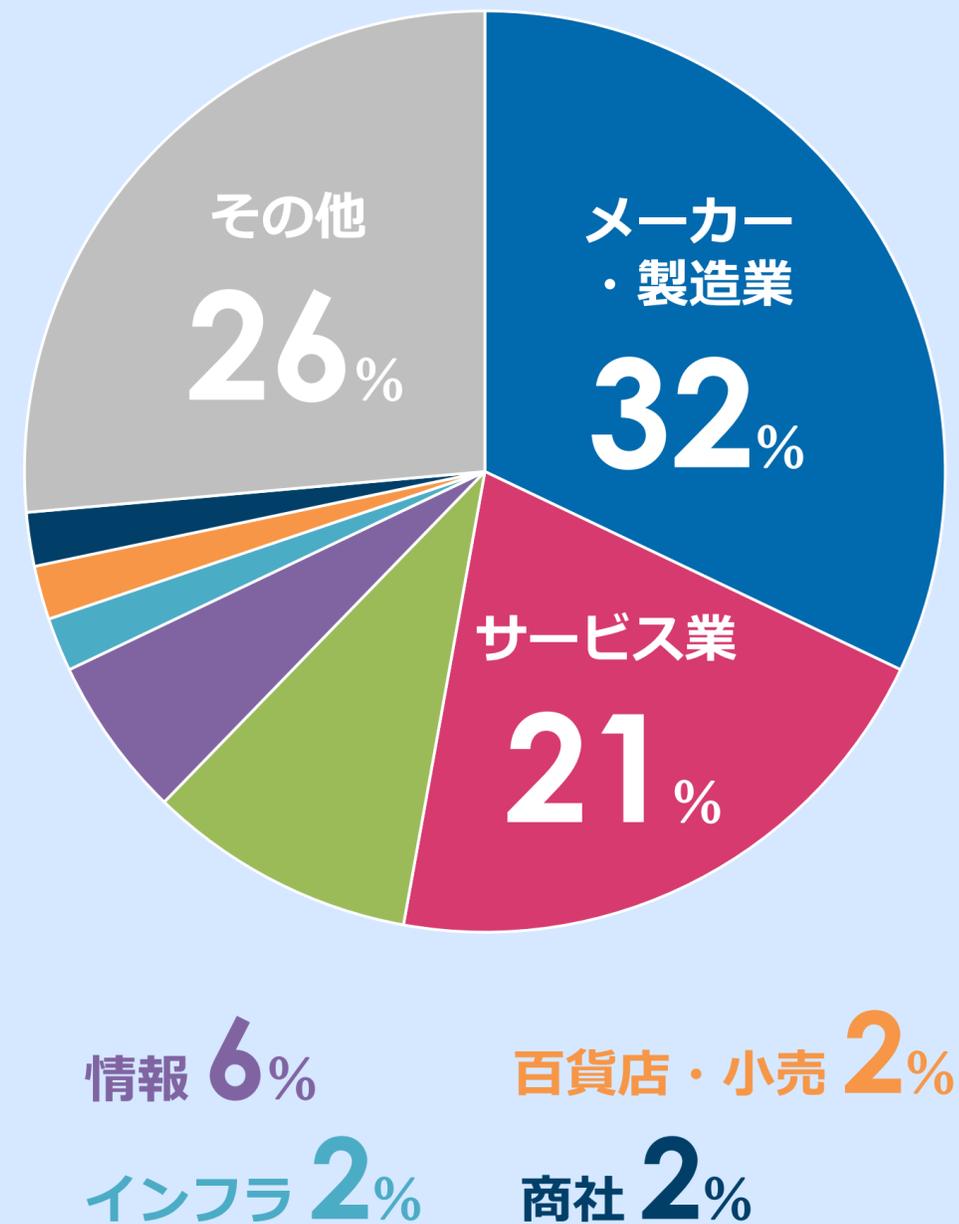


回答者の属性②

企業規模



業種



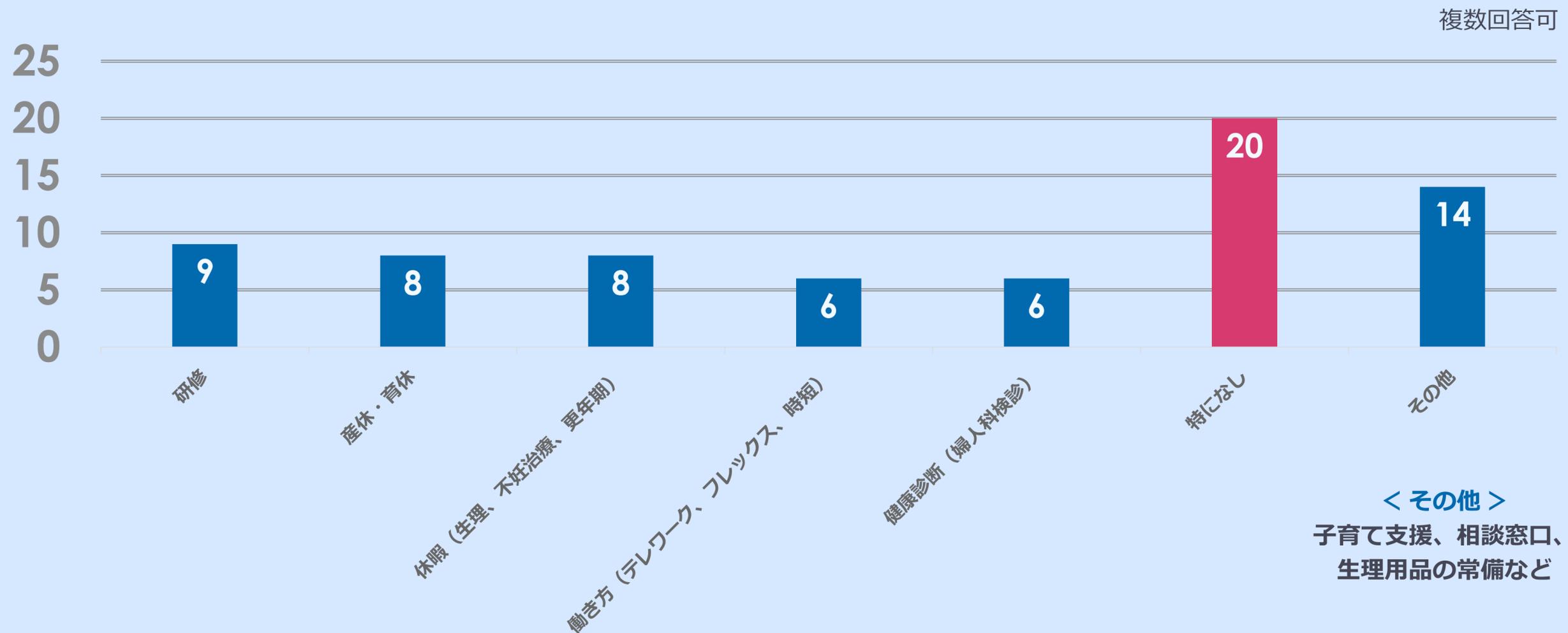
調査の結果



女性活躍支援に関連した社内施策



「女性活躍支援」として自社で実施されている健康投資策にはどのようなものがありますか？（福利厚生施策を含む）

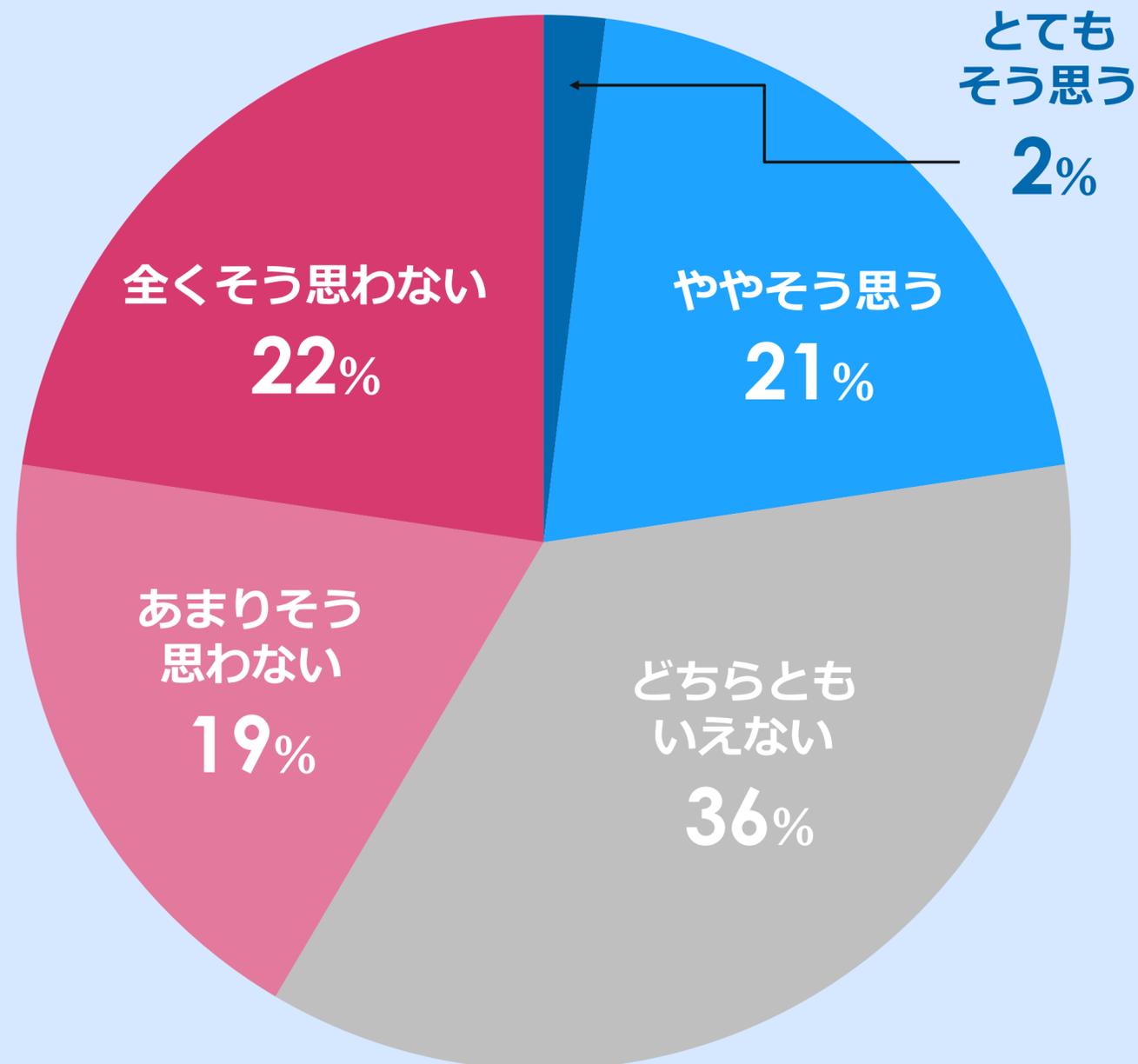


「女性活躍支援」としての健康投資策は「**特になし**」が最多。

女性活躍支援に関連した社内施策への評価



自社の健康投資・健康支援策は「女性活躍支援」の観点からして**十分である**と思いますか？



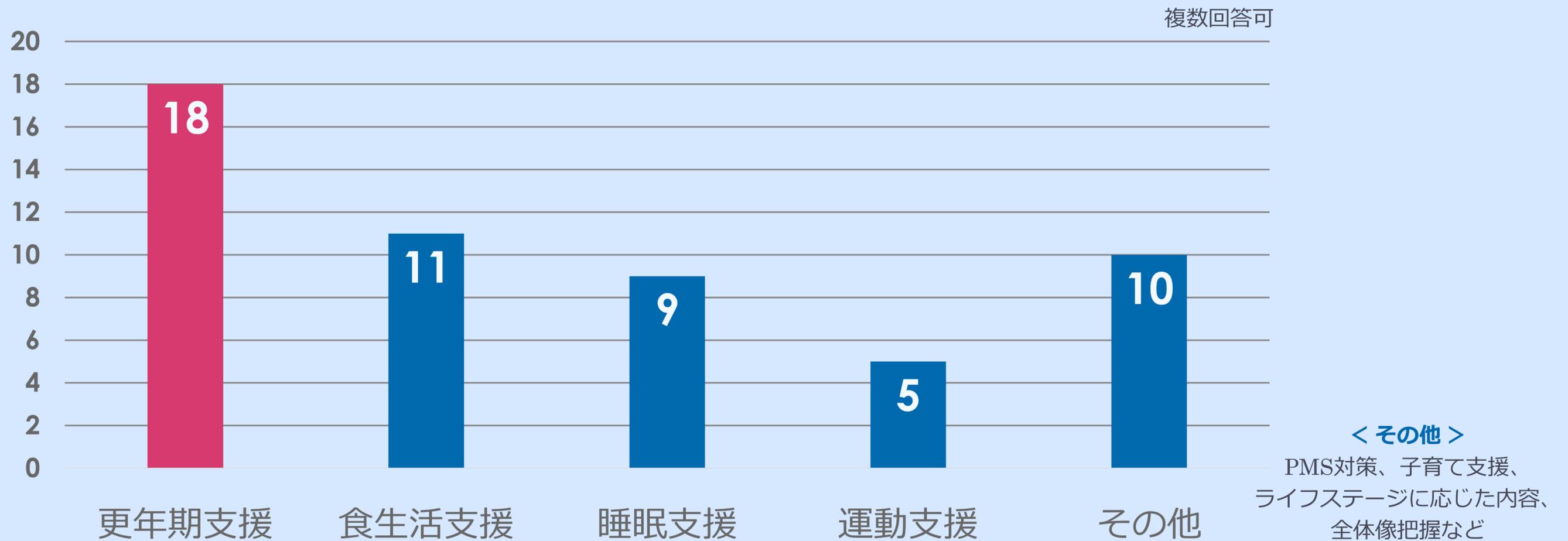
「**不十分である**」
もしくは
「**どちらともいえない**」
と考える人の割合は

77%

女性活躍支援に関連したセミナーのニーズ



「女性活躍支援」に関連して、
どのようなセミナーがあると聞いてみたいですか？



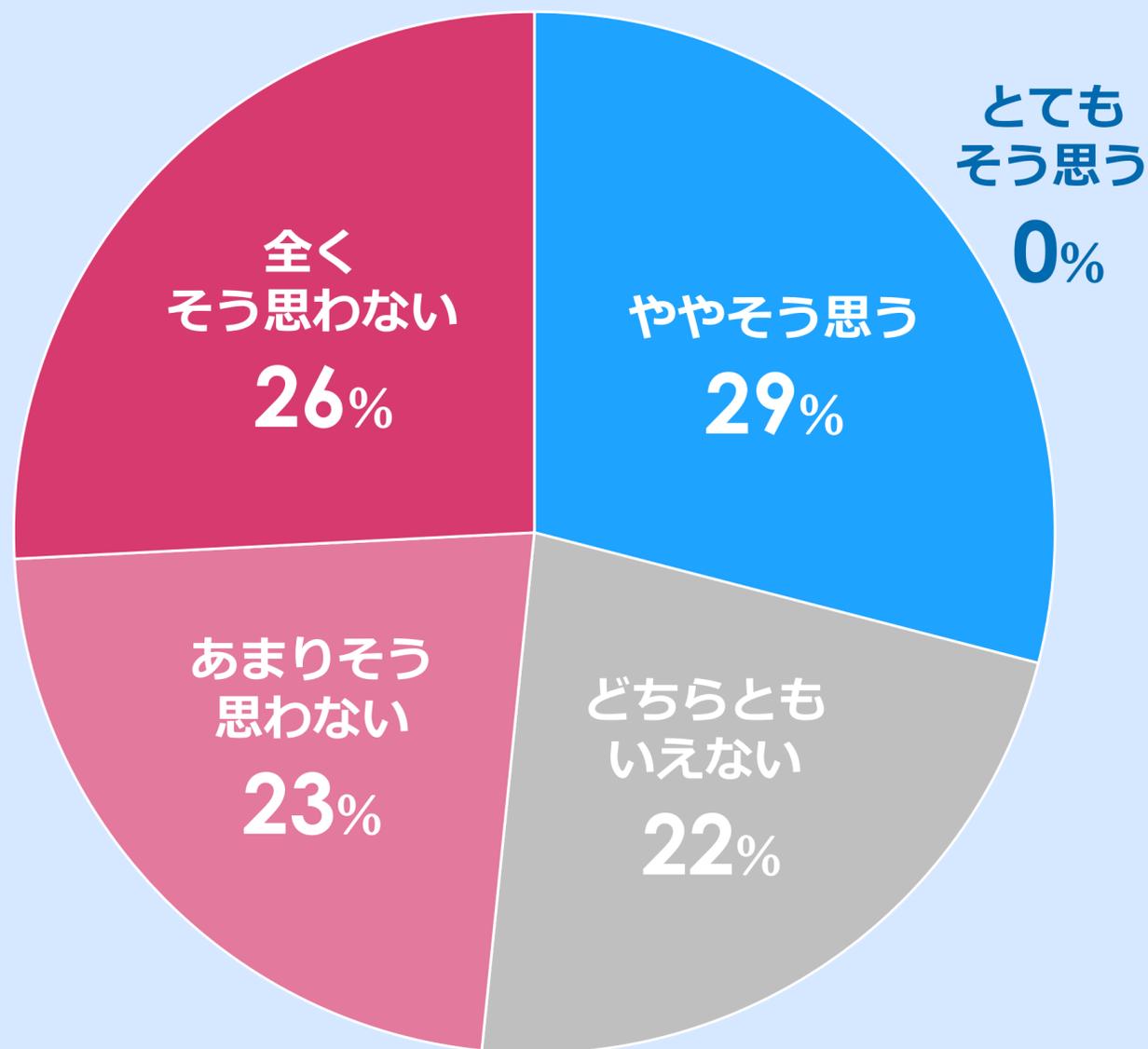
「更年期支援」に関する関心度が高い

生理休暇の活用状況



自社内で生理休暇は
十分に活用されていると感じますか？

※自社に生理休暇制度を持つと回答した
31名を対象



「活用されている」と
考える人の割合は

29% だが、

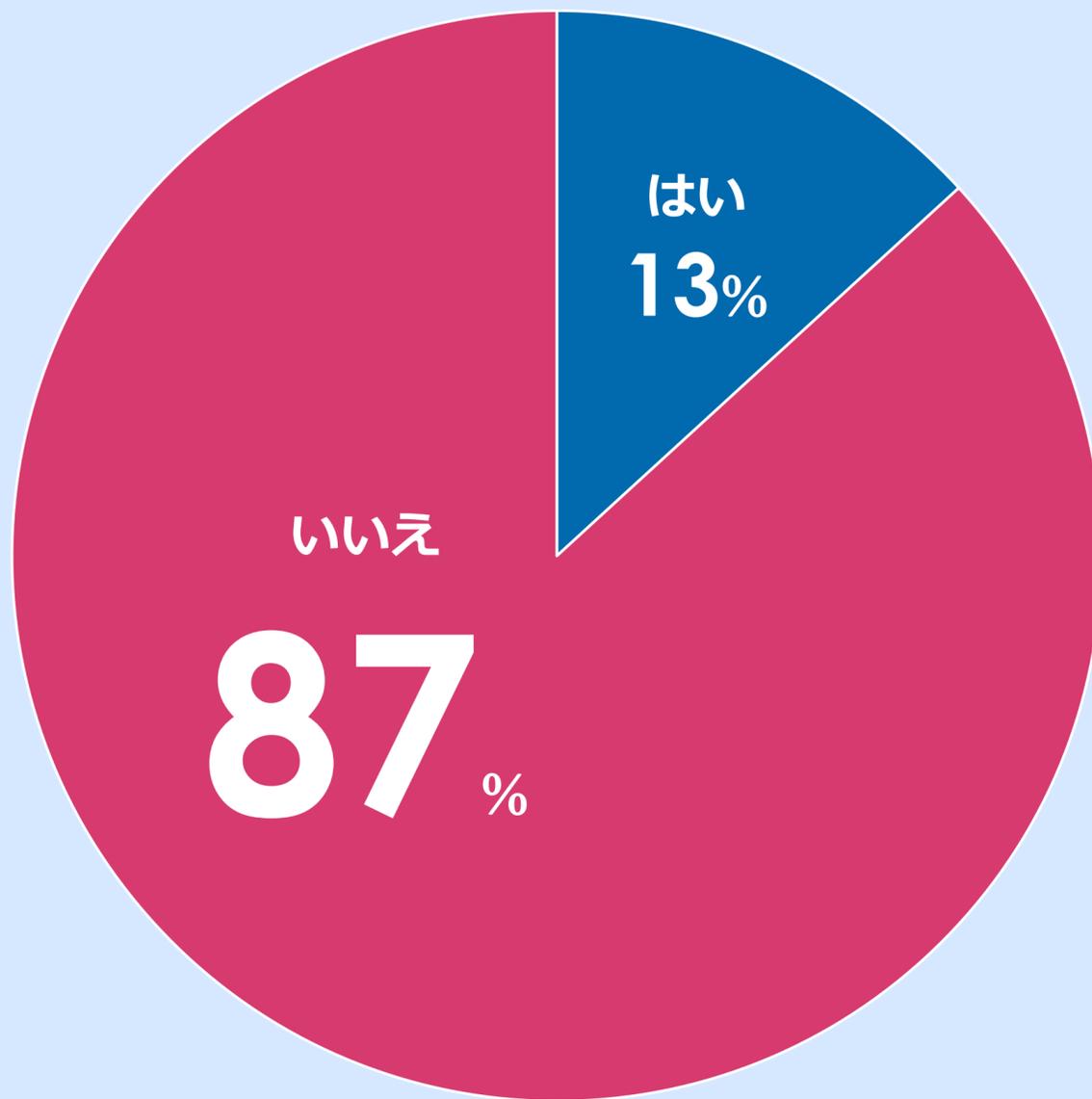
「活用されていない」と
考える人の割合は

49% と高い

オンライン診療の利用経験について



過去にオンライン診療を受けたことはありますか？

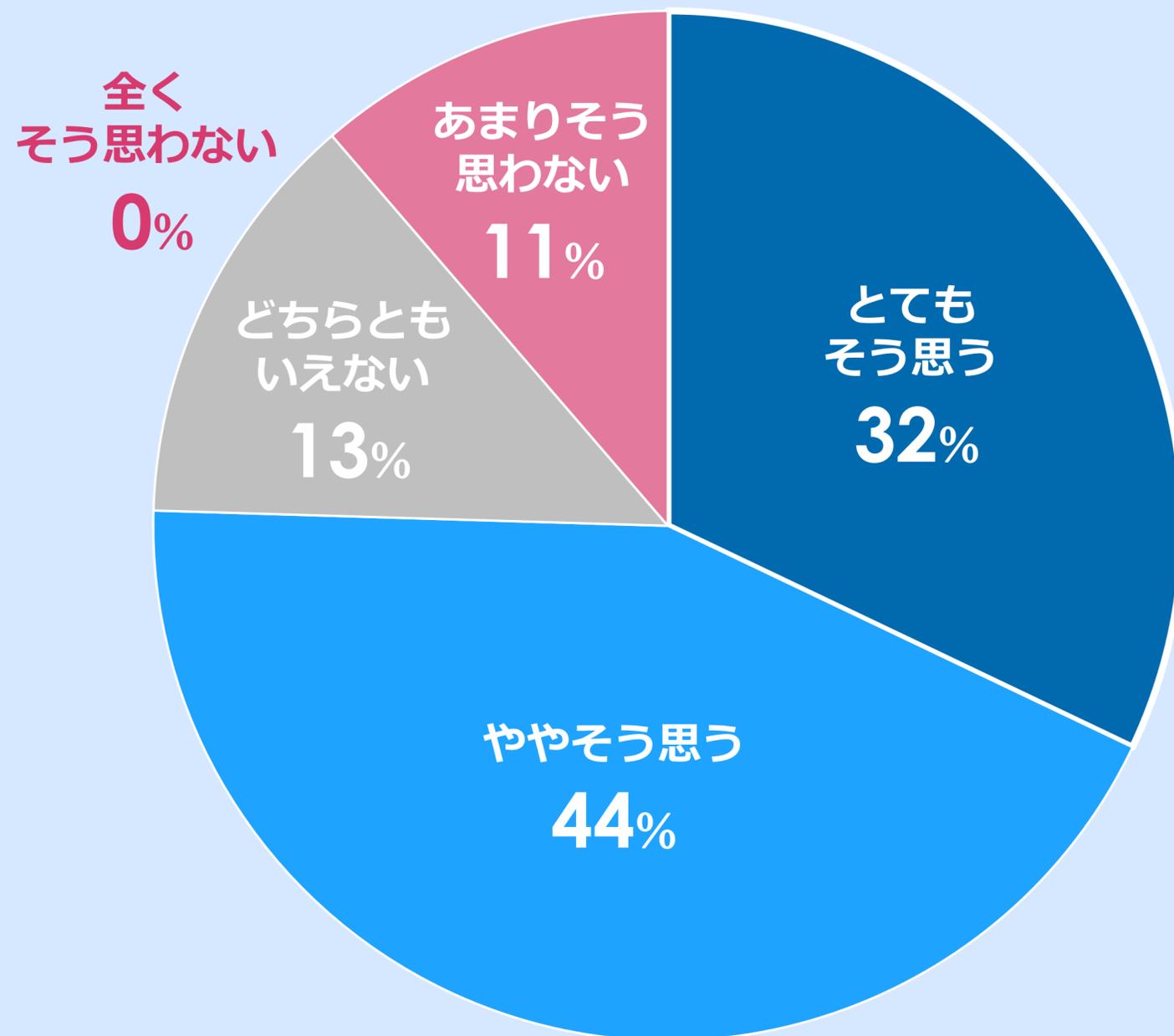


87%の人が
オンライン診療の
利用経験がない

オンライン診療の受診機会について



将来的に、ご自身やご家族の生活において、
オンライン診療を受ける機会は増えていくと思いますか？



76%の人が
「今後、オンライン診療を
受ける機会は増える」
と考えている

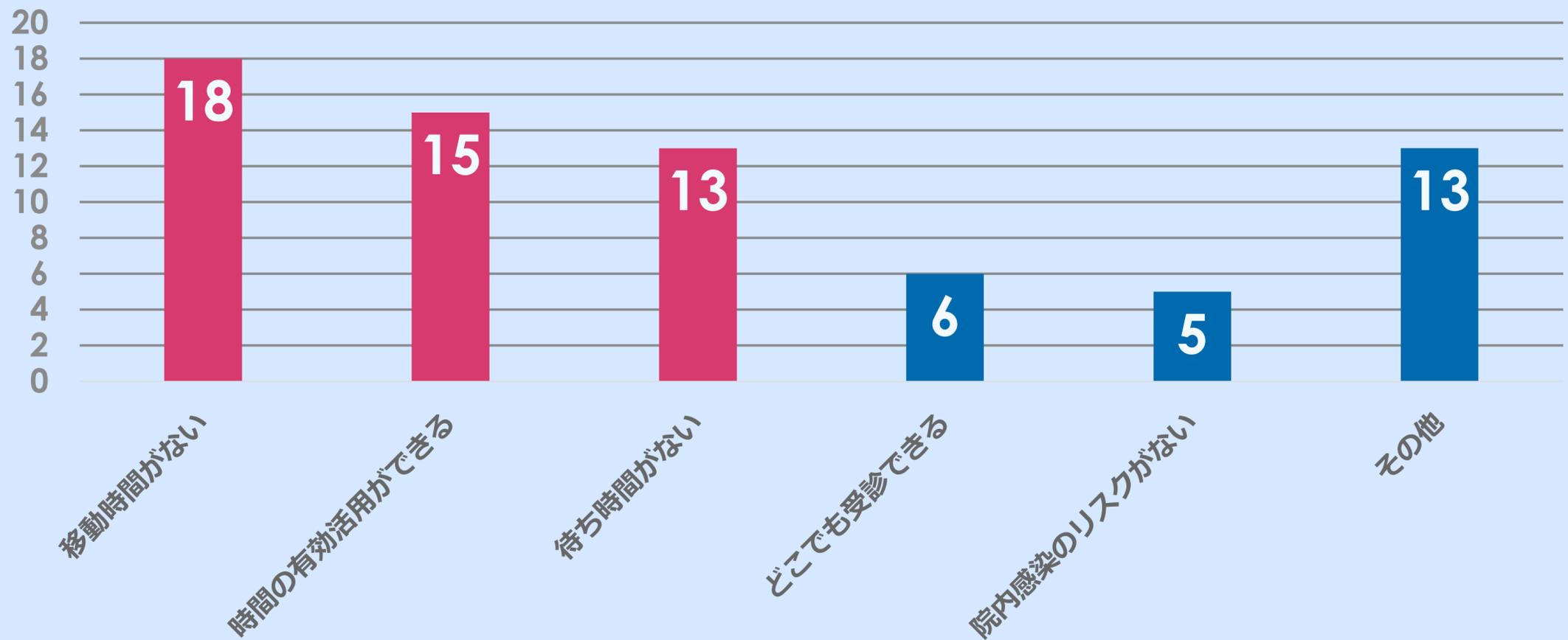
オンライン診療に感じるメリット



オンライン診療の**メリット**には
どのようなところがあると感じますか？

(例：待ち時間が短くスキマ時間で受診可能、
院内感染のリスクがない、定期配送が便利 など)

オンライン診療のメリット



<その他>

遠隔地の医療が受けられる、
手軽に受診し早期発見に
つながる可能性がある、
相談内容によっては
気楽に受診できる など

移動時間や待ち時間の短縮をはじめとした
「**時間の有効活用**」がオンライン診療の大きなメリット

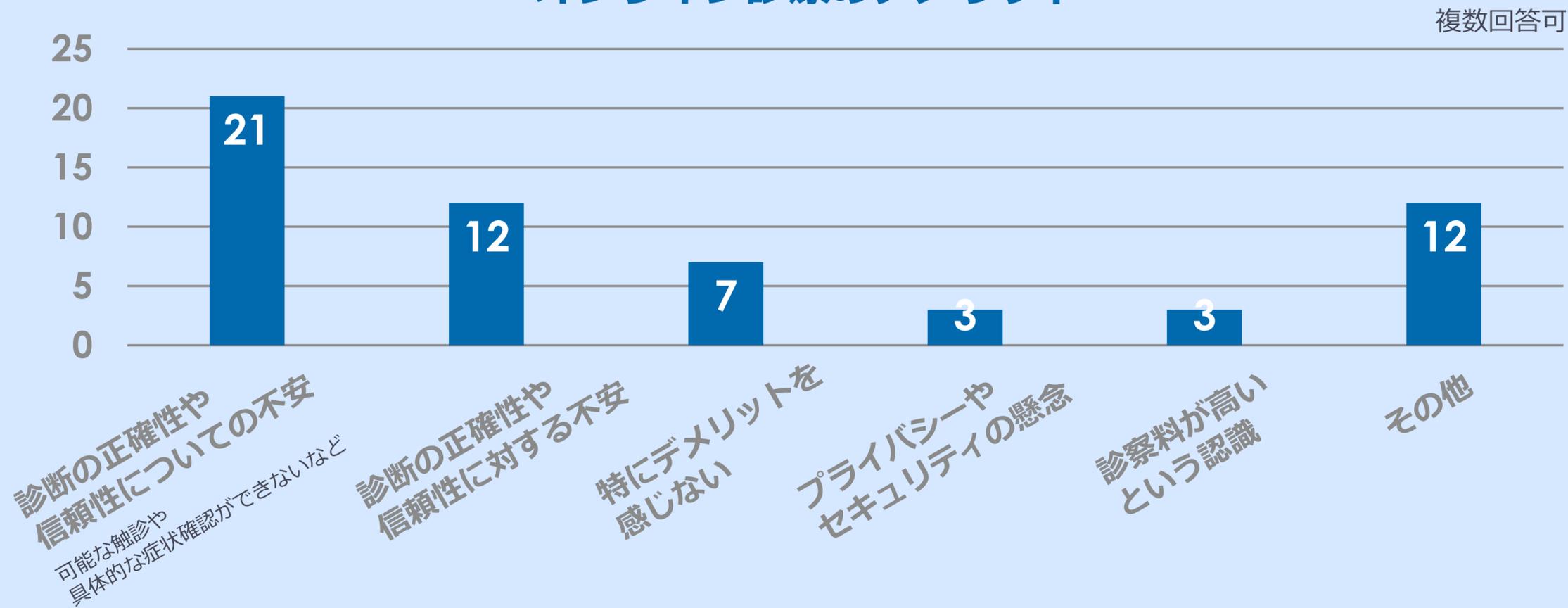
オンライン診療に感じるデメリット



オンライン診療の**デメリット**や、不安に感じている点はありますか？

(例：なんとなく怪しい、どんな医者か分からない、診察料が高い、プライバシーが心配、など)

オンライン診療のデメリット



<その他>

予約や時間調整の難しさ、検査が必要となった場合にすぐにできない、など

直接対面していないことによる
診断の正確性や信頼性に関する不安を感じる人が多い

オンライン診療に期待するサービス



もし自社に社内診療所があり、オンラインで手軽に受診し、薬は自宅に送ってもらえる場合、**どんなサービスがあると便利**ですか？

(例：オンライン処方がある / 花粉症のシーズンは2ヶ月分まとめて薬を処方してくれる
捻挫・腰痛への処方がある / 不眠症・高血圧・痛風に対する継続処方がある、など)

オンライン診療で提供してほしいサービス

複数回答可



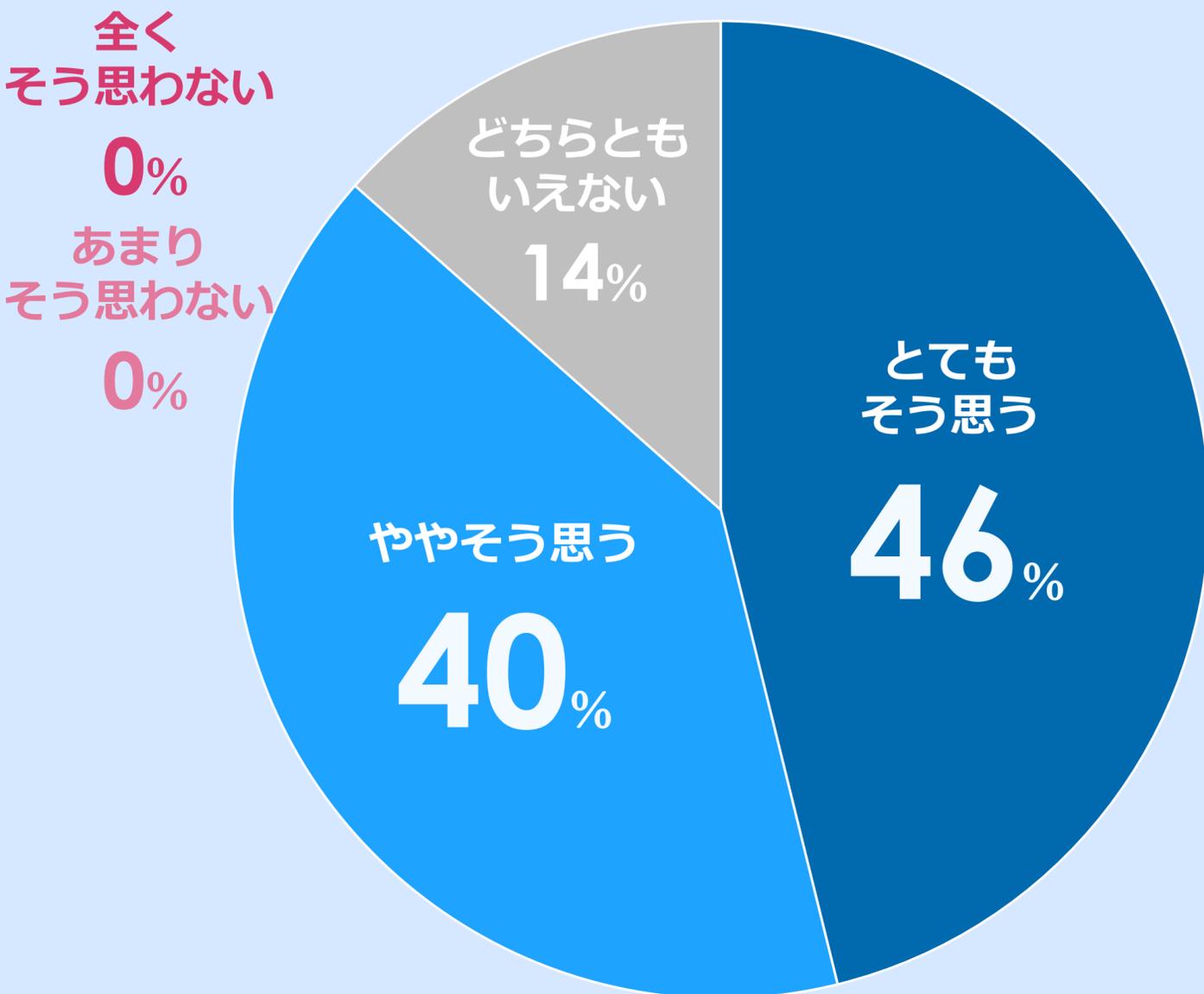
「花粉症への処方」が最多。

その他、ピルや不眠症、慢性的な疾患に対する
継続処方や長期処方の希望が多い

勤務先のオンライン診療を使ってみたいか



もし今後、勤務先の福利厚生施策でオンライン診療への金銭的補助が導入され、**安価または無料で利用できる場合**、実際に**利用してみたい**と思いますか？



86% が

福利厚生としての「**オンライン診療**」を利用したいと回答

利用についてネガティブな意見は

0% であった

考察



考察①

■ 女性活躍支援としての健康投資施策

調査の結果、女性活躍支援と関連した健康投資策として、「女性の健康に関するセミナー」「生理休暇」「不妊治療休暇」「テレワーク」「婦人科検診」などが行われていた。

生理休暇制度に関しては、**十分に活用されてはいないという意見が約半数存在**したことからも、制度を形骸化させないために検討を要する。

また、「女性の健康に関するセミナー」としては、「更年期」についての関心が最も高く、くわえて「その他」の自由記述においても「ライフステージに応じた心身の変化」や「子育て世代の働き方」などへの関心が多かったことから、**中高年女性の心身の不調と働き方に関する悩みは切実なものであり、今後より広く認知されるべき問題であると考えられる。**

考察②

■ 福利厚生施策としてのオンライン診療

調査の結果、オンライン診療に感じるメリットとしては、「通院にかかる移動時間がない」「待ち時間がない」ことから、**限られた時間を有効活用できるという優位性**が多く挙げられた。一方、デメリットとしては、非対面であることから「診断の精度」「医師の質」に関する不安の声が挙がり、これらに対する**信頼性と安心感を担保する必要性**が考えられた。

こうしたオンライン診療について、その費用を企業が一部負担する場合、「実際に利用してみたい」という意見は**86%**に及び、ネガティブな意見は**0%**であったことから、**オンライン診療を福利厚生施策として導入した場合、社員はこれを十分に活用することが予想される。**

またそのように、企業がオンライン診療への補助を行う場合、オンライン診療に求められるサービスとして、「花粉症」への処方や「ピル処方」など、長期継続的な処方が想定される**慢性疾患へのニーズが強い**ことがうかがえた。

オンライン診療では、未だ外来診療と比較して処方薬の制限はあるものの、対応可能な疾患については、会社から補助を行うことで、社員の健康増進とワークライフバランスの充実へ貢献することが考えられる。

最後に

本調査では女性が働きやすい職場づくりを目指すうえで、しばしば見逃されがちである「女性特有の健康課題」に焦点を当て、女性社員の健康支援に関する企業動向と、具体的な健康施策のニーズを調査いたしました。

昨今、女性役員比率の向上などが数値目標として掲げられる一方、PMSや更年期といった女性の健康課題に関する認知は依然低いままです。

本調査の結果が、こうした健康課題に関する認識の広がりや、具体的な企業の健康支援施策の検討材料となれば幸いです。

最後に、本調査にご協力いただいた皆様のご尽力とご支援に、心より御礼申し上げます。今後も株式会社フェアワークでは、

「すべての人々が健康かつ幸福に社会参加する世界をつくる」という理念のもと、あらゆる人がいきいきと働き、社会参加できるフェアな社会づくりに貢献いたします。

付録



女性活躍支援の取り組み

株式会社フェアワークでは、**女性の健康な社会参加**を支援する「**オンライン社内診療所**」を立ち上げました。



フェアクリニック

オンライン社内診療所

- ☑ スマホで簡単・完結
- ☑ 待ち時間なし!仕事の合間に◎
- ☑ 院内感染の心配なし
- ☑ 全国どこからでも受診可能
- ☑ お薬は最短当日配送



本調査を実施した企業

会社概要



会社名 株式会社フェアワーク

本社所在地 〒104-0052 東京都中央区月島一丁目13番6号 ウェルネス月島4階

会社設立 2019年9月1日

事業内容 従業員サーベイ・法定ストレスチェック

取引実績 衆議院・参議院・国土交通省・カゴメ・クニエ・CDG

経営理念 全ての人々が健康かつ幸福に社会参加する世界を創る

代表取締役会長 吉田 健一



- 千葉大学医学部卒業
- 千葉県精神科医療センター医長、千葉県がんセンター医長を経て、医療法人社団惟心会 理事長
- 日本医師会認定産業医
- 精神保健指定医
- 精神科専門医指導医

本調査に関するお問い合わせや、
「オンライン社内診療所」に関するご相談については、
下記よりお問い合わせください。

E-mail : support@fairwork.jp

問い合わせフォーム



スマホは
こちらから

